

クリ新品種「^{みくり}美玖里」の特性

[要約]

「美玖里」は、「石鎚」と同時期の10月上旬に収穫できる晩生品種であり、樹姿は直立性で樹勢が強い。果実は比重が高く、果肉色が黄色く、果肉が粉質で甘味が多い。

農業総合センター園芸研究所	平成27年度	成果 区分	技術情報
---------------	--------	----------	------

1. 背景・ねらい

本県のクリ栽培は、中生品種の「筑波」を中心に品種が構成されている。このため、中生品種の生産に大きく偏重しており、収穫期の分散のため、品質の優れた中生以外の品種が求められている。このような中、(国研)農研機構果樹研究所で育成されたクリ新品種「美玖里」(交雑親:「石鎚」×「秋峰」)は品質の優れた晩生品種として期待される有望な新品種である。そこで、栽培特性及び品種特性について経年調査・検討を行う。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 樹姿はやや直立性で樹勢が強く、高木になりやすい(図1)。開花は「石鎚」、「筑波」と同時期、収穫盛期は「石鎚」と同程度であり、「筑波」より6日程度遅い(表1)。
- 2) 収量は「石鎚」、「筑波」よりもやや少なく、一果重は「石鎚」と同程度である(表1)。虫害果の発生は「石鎚」と同程度であり、「筑波」に比べ多い。裂果の発生は、「石鎚」、「筑波」と同程度で少ない。
- 3) 比重は高く、果肉色は「石鎚」、「筑波」よりも黄色味が強く、果肉はやや粉質で甘味はやや多い(表2)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 樹勢が強く直立性のため、強い切り返しせん定は避け、間引きせん定を主体とし、できるだけ開帳気味の枝を配置する。また、雌花数を確保し、安定生産を行うためには前年結果した太い枝を中心に残す(H27年度試験成績)。
- 2) カットバック等の樹高の切り下げを行うと強大な徒長枝の多発生を招くので、樹高を切り下げる場合は数年かけて徐々に行う。
- 3) 病虫害防除は茨城県クリ病虫害参考防除例に準じる。

4. 具体的データ



図1 6年生の「美玖里」(左)と「筑波」(右)の樹姿

表1 クリ「美玖里」の生態 (H18~H27) その1 ¹⁾

品種 ²⁾	樹姿	樹勢	展葉期 (月/日)	雄花の開花期 (月/日)			雌花の開花期 (月/日)			収穫期 (月/日)		
				始	満開	落花	始	満開	始	盛	終	
美玖里	直立	強	5/1	6/17	6/22	7/1	6/10	6/17	10/2	10/9	10/16	
石鎚	開帳	中	5/3	6/16	6/21	6/30	6/7	6/15	10/1	10/9	10/18	
筑波	中間	中	4/29	6/16	6/20	6/29	6/6	6/14	9/24	10/3	10/11	

1) 10年間の平均値

2) 「美玖里」は16年生2樹、「筑波」、「石鎚」は26年生3樹 (H27)

3) 調査は育成系統適応性検定試験・特性検定試験調査方法 (2007年3月果樹研究所発行) に準じる。

4) 虫害の主な原因はモモノゴマダラノメイガ及びクリイガアブラムシの被害である。

その2

品種 ²⁾	収量 (kg/樹)	1果重 (g)	比重	裂果率 (%)	虫害果率 ⁴⁾ (%)	病害果率 (%)
美玖里	5.5	20.9	1.069	2.4	33.6	5.1
石鎚	9.2	21.8	1.049	4.4	26.5	5.1
筑波	10.6	25.2	1.057	2.0	16.9	5.3

表2 クリ「美玖里」の収量・果実特性 (H27)

品種	樹齢 (年生)	収量 (kg/樹)	1果重 (g)	比重	裂果率 (%)	虫害果率 ¹⁾ (%)	病害果率 (%)	果肉色	食味		
									肉質	甘味	香気
美玖里	16	12.2	24.9	1.069	3.7	11.6	2.8	黄	やや粉	やや多	中
石鎚	26	9.5	18.8	1.049	6.6	23.0	5.6	淡黄	中	中	中
筑波	26	16.6	20.4	1.050	1.8	8.0	2.2	淡黄	中	やや多	中

1) 虫害の主な原因はモモノゴマダラノメイガの被害である。

2) 調査は育成系統適応性検定試験・特性検定試験調査方法 (2007年3月果樹研究所発行) に準じる。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

果樹推奨品種決定と生態収量予測・平成25年~平成29年度・果樹研究室